



第6期宮前区区民会議 第1回準備部会

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成28年6月13日（月）18:00～20:00

宮前区役所4階 大会議室

次 第

進行：川田委員長

議題1 準備部会の目的・進め方

議題2 今期とりあげるにふさわしいテーマ分野・分類について

議題3 第2回準備部会に向けた進め方の提案

議題4 その他・事務連絡

第2回準備部会日程

7月14日（木）18時より 区役所4階・第2会議室

配布資料目次

座席表

資料1 第6期宮前区区民会議「準備部会」

資料2 第6期宮前区区民会議の進行イメージ

資料3 課題の一覧表

資料4 審議テーマ希望書

別紙1 第6期宮前区区民会議第1回会議 議事録

第6期宮前区区民会議「準備部会」

資料1

目標：2つの「専門部会」を立ち上げる

「専門部会」の目的

より具体的な課題解決に資する提案につなげるために

→テーマや対象を絞り込んで、より具体性のある討議

少人数で、集中的に討議するために

→一人一人の委員の意見・経験を活かす

「専門部会」の立ち上げ方

2回の準備部会を経て、第2回全体会で立上げ

→準備部会：6/13・7/14 → 第2回全体会：8/4

地域課題の分野・分類等を絞り込んで始動

→具体的な課題・取組提案の対象等はその後の討議の過程で徐々に絞り込む

「専門部会」の進め方（立上げ後）

（仮称）でスタート

→第5期の例：対象や課題が具体的になり、名称が正式に決まったのは年度末頃

現状や既存の取組、先進事例等を体験的・体系的に学びながら進める

→例：既存活動団体との意見交換・ヒアリング、先進事例視察など

→部会のメンバーで共に学び、共有しながら

→年度末頃には「対象や課題」「課題解決につながる提案の種」を見出したい。

常に意識したい「5つの視点」

1. 「区の特徴や現状」…宮前区らしさ・区の特徴や現状を捉えているか？
2. 「区民会議として」…区民会議で取り組む事による意義や妥当性・効果があるか？
既存の取組との関係などはどうか？
3. 「緊急性・優先性」…課題の深刻度、適した機会・時期かどうか？
4. 「実現性」…担い手・費用・手段等の確保が見込めるか？
5. 「話題性・共感性」…区民の当事者性を感じられるか？ ニュース性があるか？
区民の興味や関心・やる気を引き出せるか？

進行案：

①資料の説明（20分程度）

- 準備会の目標・区民会議進行イメージ 資料説明者（コンサル）
- 地域課題整理 資料説明者（小西）
 - ※各分野・分類の傾向等、概要を説明（各課題に細かくは触れない）
- 事務局の説明に対する質疑応答
 - ・質疑応答
 - ・「二つの専門部会の立上げ」を目指すことの確認・了承。

②討議（95分程度）

進行役…（委員長）

議論整理…要所でコンサルが議論整理

模造紙とラベル等を使った整理

※事務局も必要に応じて、コメントをする。

1) 今期とりあげるにふさわしいテーマ分野・分類について（意見交換）（80分程度）

- ・ アンケートでは一人4つまで、課題を挙げていただいたが、これまでの説明、他の委員の意見などを聞いて、相応しいと思うものについて伺う。（できれば一つずつ）
 - ※ 一人が延々としゃべったり、いくつもの事柄をしゃべったりしてしまった際は、適宜、うまく発言のまとめを促す。

2) テーマ分野・分類の絞り込み方法について（最大15分程度）

■テーマ絞り込みの方法

- ・ 前は投票を行い、決定したが、票数差が大きくなかったこともあり、一部委員から「もう少し慎重に進めたかった」との意見があった。投票／徹底議論？
- ・ 例えば、今回意見が少なかった分野についての扱い→テーマ候補から落としても良いか？／次回以降意識して取り上げたいか？
- ・ 次回の話し合い前に特に知りたい情報、事例等はあるか？

■次回の進め方

宿題：自分が専門部会で取り上げたいと思うテーマ分野及び分類を一つ決めてくる。

- ※ 少人数だがどうしても頑張る委員がいたり、捨てがたい分野・分類が多く、全体で二つに絞りきれない場合は、関連の深い分野などをグルーピングすることで、とにかく委員を概ね二グループに分けることを目的としてはどうか？

次回日程確認、欠席者の取扱

第6期宮前区区民会議の進行イメージ

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催	備考
28	4		4/20 事前打ち合わせ会	
	5	地域課題の検討 テーマ分野・分類の絞り込み	5/20 第1回全体会	
	6		6/13 第1回準備部会	
	7	専門部会発足 (仮称)で始動 各テーマの現状調査、目指すべき姿、理想像の確認	7/14 第2回準備部会	
	8		8/4 第2回全体会	専門部会① 専門部会①
	9			専門部会② 専門部会②
	10		企画部会(1)	
	11	解決すべき課題の洗い出し、先進事例のサーチなど	第3回全体会	専門部会③ 専門部会③
	12			専門部会④ 専門部会④
	1	フォーラムの企画・準備など	企画部会(2)	
	2		第4回全体会	専門部会⑤ 専門部会⑤
	3		企画部会(3)	
29	4	課題解決に資する取組提案の検討	区民会議フォーラム	専門部会⑥ 専門部会⑥
	5		企画部会(4)	専門部会⑦ 専門部会⑦
	6		第5回全体会	専門部会⑧ 専門部会⑧
	7			専門部会⑨ 専門部会⑨
	8		企画部会(5)	
	9		第6回全体会	専門部会⑩ 専門部会⑩
	10	取組提案の試行と検証など	企画部会(6)	
	11		第7回全体会	
	12		区長への提案	
	1		企画部会(7)	
	2	第6期の総括	第8回全体会	
	3		企画部会(8)	
	フォーラムの企画・準備	区民会議フォーラム		

課題の一覧表 (地域課題把握アンケート集計結果より)

分野A [交通、防災、住環境]							
番号	分類	課題のテーマ	現状と課題	解決策と取組方法	類似する施策等	過去の区民会議提案	MEMO
1	交通	交通インフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・坂道が多く交通網が粗い。夜間は交通過疎 ・駐車違反による交通渋滞 ・バスルートの整備、ターミナルの拡充 ・あざみ野～新百合間の新駅創設 	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉有償運送等の交通手段設立、終バス延長 ●警察と共同での解決策模索など ●東急等バス会社との連携、鷺沼駅周辺再開発への提案活動 ●横浜市との連携。地域各種団体、行政、議員等との協働 	<ul style="list-style-type: none"> ●野川南台コミュニティバス ●麻生区高石地区、多摩区長尾台地区のコミュニティバス[まちづくり局] ●「NPOあかい屋根」の福祉タクシー ●鷺沼駅周辺まちづくり推進事業[まちづくり局] 		
2	防災	防災意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地震を想定して生活する必要がある ・一人ひとりの防災意識向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●より詳細な防災マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時要援護者登録制度 ●防災マップ作成 ●宮前区地域防災計画において市直下地震（M7.3、震度6強）を想定しシミュレーション [いずれも危機管理担当] 	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成（第1期提案） ・防災推進員養成研修 ・防災フェア開催、防災ニュース発行 	
3	住環境	住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・歩車分離が少なく、のんびり歩ける道が少ない ・散歩道の整備、周知がされていない ・ホームレスの存在 	<ul style="list-style-type: none"> ●散歩に適した街路を設定、地図上等に周辺施設などを二次元コード付きで設定 ●公衆トイレを一般企業などから募集、散歩道に設置。公園トイレの増設 ●公園・街路樹を愛護会の積極設立で整備する ●ホームレス対策 	<ul style="list-style-type: none"> ●あんしん歩行エリアの設定（宮前平周辺地区、小台地区）[建設緑政局] ●ネーミングライツ（川崎富士見球技場→富士通スタジアム川崎へ）[建設緑政局] ●管理運営協議会・公園緑地愛護会に対する技術支援、報奨金[建設緑政局、道路公園センター] ●地域の魅力アップセミナー[生涯学習支援課] ●ホームレスは道路公園センター等が個別対応 		

分野B [地域福祉、高齢者、子育て]

番号	分類	課題のテーマ	現状と課題	解決策と取組方法	類似する施策等	過去の区民会議提案	MEMO
4	地域福祉	地域包括ケアシステムの構築・機能化	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域包括ケアシステム」の定義が不明瞭。それぞれの「助」の具体的役割の明確化 ・困った人に気軽に声掛けできる環境づくりが必要 ・子育てと介護のダブルケアに苦しむ現状。子どもの貧困も →多忙等により福祉の情報が得られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●行政による自助・公助・共助・互助の明確化→関係機関、団体等の役割の明確化 ●地域の実情に合わせたオリジナリティのある推進策の考案 ●子ども、子育て、障害者、介護、貧困等に関わる官民の情報一元化 →冊子にまとめ、活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校、引きこもり児童の居場所として「こどもサポート南野川」[地域みまもり支援センター] ●子育て支援事業、子育て情報発信事業 →子育て情報紙『とことこ』の発行、宮前区子育てホームページ開設、フェイスブック・ツイッターによる情報発信 [地域みまもり支援センター] ●かわさきアプリ（子育てアプリ）（ICT推進課） ●地域包括ケアシステムポータルサイト [健康福祉局] ●第4期地域福祉計画 ●就労支援、学習支援 [保護課] 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会組織等を利用した効果的で効率的な地域子育て情報の発信（第1期提案） ●団塊世代による高齢者福祉のサポート（よろずシニア本舗）（第1期提案）→地域振興課の相談情報窓口へ統合 ●ほっとやすらぎステーションを広げよう（第5期提案） 	
5	高齢者支援	認知症、引きこもり、健康寿命等の高齢者課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症等に対する意識がまだ不足している中で、認知症、引きこもり、孤独死等の問題がより身近になりつつある ・様々な理由で毎日つらい思いをしている人々の癒しの場がなければいけない ・高齢年集合住宅に住む高齢者が抱える問題が何か、を知る ・引きこもりがちな高齢者に外出の楽しみを経験させ、健康寿命の延伸を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポーター研修を小・中学生から高齢者まで実施し、様々なレベルで知ってもらう ●新規にカフェ立ち上げを行おうとしている人を組織的に支援。運営団体の確立、町内会・自治会等の市民活動団体による準備委員会を組織して検討。場所に関しては行政が空き家等を確保する ●高齢年集合住宅の居住者へのヒアリング実施→課題、問題点の洗い出し ●外出する高齢者のため、「こども110番」の高齢者版のようなステッカー等を店舗、タクシー等に貼る ●坂マップを作成し、年齢や体力に応じた街歩きを推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域が主体となった高齢者の見守り促進事業 [地域みまもり支援センター] ●稗原ゆ〜ず連絡会の設立 ●坂道を活かした活力づくり事業 ・「みやまえ坂道ウォーク」刊行 ・川崎フロンターレ主体のウォーキング教室 ●公園体操の普及促進 [地域みまもり支援センター] 	<ul style="list-style-type: none"> ●市営住宅などにおける一人暮らし高齢者の見守り（第1期提案） →見守り活動事例集発行 ●坂道を活かした地域の活力づくりに関する提案（第3期提案） 	
6	子育て支援	子育て・孫育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力低下が問題視される中、公園でのボール遊びが制限されている ・孫育てを頑張るお年寄りが多くなってきた。そのような人たちのフォローが必要 ・区内に伝わる昔話を子どもの教育のためにも伝えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ●公園、自治会ごとにルールを定めるなどして、ボール遊びができるようにする ●子育てガイド「とことこ」の孫育て版を作成する。 ●保育園程度～小学校低学年向けの絵本づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●冒険遊び場活動支援（団体への支援、専門家による講演会開催） [地域みまもり支援センター] ●こども自然探検隊 ●「地域と家族の孫まご応援ブック」（横浜市こども青少年局企画調整課） 	<ul style="list-style-type: none"> ●「冒険遊び場」を広めよう（第2期提案） ●地域などへの子育て出前講座の実施（親と子の子育て応援セミナー）（第1期提案） 	

分野C [まちの産業振興、魅力発信]

番号	分類	課題のテーマ	現状と課題	解決策と取組方法	類似する施策等	過去の区民会議提案	MEMO
7	産業振興	働く環境づくり、起業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・区内に働く場が少ないため、昼夜間人口比率が市内で最も少ない。 ・地域で独立起業を支援するような場が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家、空き店舗の活用、町おこしの専門家の指導、地権者、町内会、行政による協働 ●ハローワークのような雇用の情報ではなく、起業の後押し 	<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業診断士によるセミナー「商人（あきんど）デビュー塾」[経済労働局]空き店舗活用支援等も ●かわさき起業家塾[川崎市産業振興財団] 		
8	魅力発信	区への愛着強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイメージを良くし、安心していつまでも住みたくなるまちづくり ・区の歴史、文化の再認識と次代への継承→地域への愛着を持たせる 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の行事、祭り等への参加促進（特に若い世代）→郷土愛の醸成 ●宮前区の歴史を知ってもらうための資料館、ジオラマ作り→歴史を形に残す取り組み ●史跡の次世代への継承と研究。魅力スポットとして紹介（継承）、近隣の大学等と協働（研究） ●音楽のまちのイメージを強化するためのイベント、音楽関係者との交流等 	<ul style="list-style-type: none"> ●みやまえカルタ活用事業[地域振興課] 	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区のカルタをつくろう！（第1期提案） ●みやまえ魅力スポット・寄ってこ！ガイド（第5期提案） 	
		区内外への魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・情報展開の不足による地域の活性化不足 ・区民祭の会場を北部市場から区役所にしたことで参加者激減 ・区外への発信力の強い目玉イベントが無い 	<ul style="list-style-type: none"> ●区内外への魅力発信の強化。区外の人を呼び込む ●区民祭会場を北部市場へ戻す ●区内の遺跡をコンセプトにした「遺跡祭り」、仮装大会、坂道を利用したスポーツイベント等で区外から人を呼び込む 	<ul style="list-style-type: none"> ●ぐるっとみやまえ[企画課] ●みやまえ坂道ウォーク[企画課] 	<ul style="list-style-type: none"> みやまえ魅力探訪ネットワークの構築（第5期提案） 	

分野D [世代間交流、地域コミュニティ]

番号	分類	課題のテーマ	現状と課題	解決策と取組方法	類似する施策等	過去の区民会議提案	MEMO
9	世代間交流	世代間交流の場・ひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的要因による区行政への関心度の温度差 ・多世代が利用できる拠点が無い。交流の成功例、応用例も少ない ・転入者が住みやすいと感じるようにしなければいけない ・能力のある人が多くいるが、活かされていない ・地域に関わることが少ない世代との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の拠点づくりの推進、外出時の休憩場所の整備（ベンチ等）、空き家等を利用した世代間交流の拠点づくり ●人材の発掘、居場所づくりに携わる人の育成 ●金銭を媒介しない助け合いシステムの創出 ●転入間もない人向けの交流の場 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育園単位で、高齢者施設との交流イベントを実施している [保育所等地域連携担当] ●向丘出張所では高齢者と子どもとの交流を定期的実施 ●こども遊びランドで達人と子どもたちとの交流 [市民館] ●転入者子育て交流会＝うえるかむクラス [地域みまもり支援センター] ●思い出ベンチ→ベンチを寄付で作る [東京都建設局] ●シニアの社会参加支援事業 [生涯学習支援課] 	<ul style="list-style-type: none"> ●世代間で交流する対話の場を企画→こどもあそびランド（第4期提案） 	
10	地域コミュニティ	地域のつながり強化	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士のつながりのため、地域の団体、地域資源が連携する必要がある ・助け合いの精神、絆が不足している ・災害時等に必要とされる地域力の源である町内会・自治会加入者が減少している ・地域包括ケアシステムでの自助・互助は小学校区程度が適正だが、現在の行政や町内会・自治会の区割りが大きすぎるため、住民同士の連携、地域力が低下している 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会、福祉施設、企業、学校等の地域資源が連携することで住民同士のつながりに結び付け、防災・防犯等への大きな力とする ●エコマネー等のコミュニティ通貨の導入による地域のつながり意識の強化 ●モデル地区を選び、防災・防犯、互助の観点から小学校区程度の小さな区割りを設定し、その中で「地域に住んでいる」意識を育てる→将来的には自治会・町内会の加入率向上へ ●ネットを介してご近所づきあいできるようなシステムを作り、若い世代もつながり意識を持てるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●宮前区地域防災連絡会議 [危機管理担当] ●地域通貨「たま」（多摩区）NPO法人ぐらす・かわさき ●子ども安全・安心見守り事業 登下校時の子どもたちを犯罪から守り、交通事故を防ぐために「子ども安全安心協議会」の運営・活動を支援 [地域ケア推進担当] ●鷺沼地区に地域交流スペースを開設し地域のたまり場に。健康マージャンと健康づくり講座を開催（事業提案制度により実施、現在はNPO法人単独での事業実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校区単位で地域の特性を活かしたコミュニティの促進（第1期提案） ●地域のたまり場創出（第1期提案） 	

分野E [その他]							
番号	分類	課題のテーマ	現状と課題	解決策と取組方法	類似する施策等	過去の区民会議提案	MEMO
11	その他	地域の合理的課題の把握・対応	宮前区が抱える課題を、在住地域、立場などの視点から短期・中期・長期に分類・把握し、区長経由で区民へ誠意のある報告をし、共通認識が必要	<ul style="list-style-type: none"> ●課題調査・把握を検討する専門部会を作る。メンバーは6期3～4名で構成 ●解決・取組は課題調査・分析から行政、関係団体を入れて協議、対応 			
		第5期までの提案の継続	第1～5期の取り組み実績も含め新たな取組継続を目指す。 取組は区外・市外にも浸透する工夫が必要	<ul style="list-style-type: none"> ●くらし部会の様に、行政側・地域の代表である自治会長との協働作業にて地域を束ねる団体の組織創りが重要 ●魅力探訪では、何年も前から手掛けているまちづくり協議会との連携が必要 			
		過去の区民会議テーマの検証	これまで区民会議で取り上げられたが実現されなかったテーマは何故実現できなかったのか、実現されたが先細りとなったテーマは何故盛り下がったのか	<ul style="list-style-type: none"> ●区民と有識者による第三者委員会をつくって調査 			

地域課題把握アンケートの内容をもとに、分野の再設定、類似する課題の統合のうえ、実施中の施策や過去の区民会議の検討結果等を追記したものです。

この表から、第6期宮前区区民会議で議論すべきテーマを選定していきます。

※表中の「番号」は、今回の編集により改めて振りなおしたもので、第1回会議資料のアンケート集計結果の番号とは一致しません。

第 6 期宮前区区民会議 審議テーマ希望書

委員名【
】「今期の区民会議で検討したい」
「取り上げるに相応しい」 審議テーマ

- 第 1 希望 ※分野・分類は資料 3 の整理に沿った形でお願いいたします。

分野	分類	課題のテーマ
コメント・理由等		

- 第 2 希望 ※第 1 希望とは異なる分類でお願いいたします。

分野	分類	課題のテーマ
コメント・理由等		

ご多忙中、恐縮ですが、

6月20日までに事務局にご提出をお願いいたします。

提出方法：①区役所持参 ②FAX 8 5 6 - 3 1 1 9 ③メール：69kikaku@city.kawasaki.jp